

2019年2月12日

日本船主協会 海務部

東京海洋大学海洋工学部1・2年生を対象に座談会を実施

日本船主協会では2008年7月より人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

この度、2019年2月1日(金)に東京海洋大学越中島キャンパスにおいて、海洋工学部の1・2年生を対象に座談会を開催しました。

この取り組みは、東京海洋大学 海洋工学部 海事システム工学科および、海洋電子機械工学科に在籍する1・2年生を対象に実施しているもので、海技者の仕事をより身近に感じてもらうことを目的としています。

今回の座談会では、飯野海運株式会社より西利樹 二等航海士、廣澤浩平 二等機関士、NSユニテッド海運株式会社より高見澤成秋 二等航海士、川崎汽船株式会社より川尻隆大 二等機関士、株式会社商船三井より横山岳志 一等航海士、渡邊真史 一等機関士、日本郵船株式会社より松澤吉輝 三等航海士、吉村拓人 三等機関士の8名が、参加した1・2年生100名以上からの質問に応え、情報交換しました。

2018年12月・2019年1月に開催された講演会の補足的な位置付けとして実施された今回の座談会は、軽食を取りながら、よりざっくばらんに話す機会となりました。参加した学生からは、「船乗りの生活」、「練習船と社船の違い」、「学生時代のエピソード」、「入社後の配乗」、「就職活動」、「いまやっておくべきこと」についてなど、多岐にわたる質問があがり、興味深そうに話を聞く学生の姿が印象的でした。特に2年生からは多くの学生が参加し、非常に活発な座談会となりました。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



座談会の様子